

松井 一矢

神戸科技6期生(2012 年卒業)

会社員・トライアスリート



神戸科学技術高校に通うすべての後輩たちに贈ります。

私は、現在、会社員として働きつつ、鉄人レースと呼ばれるトライアスロンという競技の日本代表選手として活動しています。また献血は累計 100 回を越えた日本国内唯一のアスリートになりました。

私は電気情報工学科で 3 年間学び、2 年生で電気工事士の資格を取得。学校での勉強と並行しながら、在校中に取得できる資格があれば、危険物取扱者をはじめ、さまざまな資格取得に挑みました。陸上競技部に所属し、毎日フラフラになりながらも文武両道を掲げ、挑み続けた結果が今に繋がります。

高校を卒業後はすぐに就職。住友金属工業株式会社（現：日本製鉄）に入社。ですが、社会を何も知らなかった私は 3 年間勤めて 20 歳で退職。夢を思い描き、自由になり、さあ夢に挑むぞ！という気持ちでしたが、資金調達に苦しみ、夢に挑むどころでは次第に無くなっていきました。切羽詰まったところで、助けられたのは高校時代に取得した数多くの資格。そして陸上競技部で培った元気さと体力でした。

いろんな失敗を経験させて頂いたからこそ、今があります。しかし、一度挑んでみて失敗をしたことについては後悔を一切していません。貴重な経験として捉えています。私が振り返って、高校時代にやっておけばよかった・・・と思うことは「将来、自分はどうなりたいのか」と自分自身の将来像を明確に描くことです。私は将来像が曖昧なまま就職をしてしまいました。どんな人生を歩みたいのか、どこで、誰と、何をしていたら幸せを感じるのかなんて、当時の私は考えたことがなく、漠然と、就職して定年退職まで働いて、20 代後半で結婚し子供を作り、子育てをしながら 50 代を迎えるイメージしか沸いていませんでした。もっと欠落していたのは、どうすれば、素敵な未来が訪れるのかを考え、行動をしていなかったことです。どうにかなる。なんとかなる。困ったら誰かが助けてくれる。そんな甘い気持ちで構えてしまい、自分の将来設計が未熟で、目の前の快苦の振動に惑わされてしまいました。

私が考える高校 3 年間でやっておくべきことは、自分自身の未来に対して、どんな道に進んでも生きていける選択肢を増やすことだと思います。資格取得や、日々の勉強、日々の部活動を一生懸命になって取り組むことで、どんな道にも進んでいけます。そこを妥協してしまえば、自分が〇〇をやりたい！と思って行動しようと思っても、条件が厳しくなる可能性が高まります。高校生という貴重な時間は基本的には 3 年間しかありません。夢を思い描き、紙に書き出し、実際に行動し、がむしゃらに頑張る 3 年間。この貴重な時間をぜひ大切にしながら、毎日の学校生活を過ごして欲しいなと思います。

みなさんの将来の夢は何ですか？どんな人生を歩みたいですか？
どんな将来設計・青写真を描きますか？どうすれば、その夢は叶いますか？
では、今この瞬間から何をやり始めますか？

この問い掛けがみなさんの明るい未来へと繋がることを願います。

■プロフィール

松井一矢 まついかずや 1993.12.17. (26 歳) B 型

会社員・トライアスリート

兵庫県神戸市東灘区 出身

ブログ：「松井一矢の挑戦！～ウルトラマン・トライアスロンへの道～」

(http://blog.livedoor.jp/kazura55bw/?blog_id=7531655)

Twitter : @kazura555bw

Instagram : @kazura55bw

【経歴】

住吉中学校 61 回生 → 神戸科技高 6 回生 (2012 年卒業)

→ 住友金属工業・新日鐵住金 (現：日本製鉄) 2015 年 3 月退職

→ 合同会社あおぞら ケアホーム桜の樹 他 _ 福祉施設 職員 2017 年 4 月退職

→ 三菱日立パワーシステムズエンジニアリング (略称：MHP S-ENG) 2018 年 7 月退職

→ 2018 年 8 月～ 現在

【主な戦歴】

2012 年 第 2 回神戸マラソン 年代別 19 歳以下の部 優勝

2014 年 第 29 回北海道サロマ湖ウルトラマラソン 年代別 24 歳以下の部 優勝

2015 年 第 33 回ニューカレドニア国際マラソン 年代別ヤングの部 優勝

2016 年 鉄人レース IRONMAN トライアスロン in マレーシア (ランカウイ島) 初挑戦

2017 年 第 37 回全日本トライアスロン皆生大会 完走

2019 年 トライアスロン世界選手権 in スペイン/ポンテベドラ 完走

現在に至る

